

・演題：セラミックオーバーレイによる接着修復治療

・講演抄録

近年の接着技術の向上によって歯質保存的な治療が可能となり、補綴・修復治療においては従来の全部被覆冠による治療から、接着技術を最大限生かした治療へと治療のスタンダードが変わろうとしている。セラミックオーバーレイは、咬頭被覆を必要とする症例に対して、接着を最大限に生かした歯質保存的な修復方法として注目されつつある。セラミックオーバーレイでは、これまで支台歯形成において重視されてきた維持形態などの概念は必ずしも必要ではなく、歯質保存的な支台歯形成が可能となることで結果的に歯の寿命を伸ばすことにつながると考えられる。特に失活歯の補綴治療においては、全部被覆冠による補綴処置が妥当であると考えられていた症例においても、セラミックオーバーレイを適応することでより歯質保存的な修復が可能である。

本講演では接着に関する基本的概念の理解と、それを生かしたセラミックオーバーレイによる接着修復治療のエビデンスおよび臨床手技について、明日からの臨床で即実践できるように臨床医の立場から解説させていただきたい。